## 教育課程(5歳児)

## 福山市立緑丘幼稚園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	1	11月	12月	1	月	2月	3月
期	9期			10期	_		11期	/	_	12期				13期
のくくり		に慣れるとともに の自覚と喜びを る時期	なが	いろな遊びを十分 ら, 友達とのつな ていく時期		自分の力で試したりしながら, 遊びに取り組み,友達と考えや 思いを出し合って遊ぶ時期			【信頼し合う仲間と話し合い ながら、意欲的に遊びを創り 出していく時期			( 1年生になるという自覚と喜びを ) もちながら、残り少ない園生活を ( 楽しむ時期		
ともの	環境が変化したことへのる。 ・年少児や年中児に関心でしようとする。 ・様々な遊びに興味を広ぶことを楽しむ。	待が見られる一方で、生の不安や緊張した姿も見らいを示し、挨拶やお世話をいた。 では、気の合う友達と一緒感じたり、身近な自然物により、	れ なる。 ・いろいろが思いが ・ダイナミ エ夫した	士方が分かり, 進んでな友達とかかわりを加ぶつかったり, 伝わらックな遊びを喜び, 自:りすることを楽しむ。	ばげて遊ぼうとする・なかったりする。 じ分たちで考えたり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	お互いの頑張りを認め合いになる。 ・自分なりの目標をもって挑けてやってみようとする。 ・友だちと共通の目的をもち 舌動に取り組むようになる。	戦し, 友達から刺激を , 力を合わせていろし	よ 受・ 題	こうになる。 友だちとのつな 夏解決をしよう。	なかで役割を分担し。 ながりが深まり,自分; としたり,話し合って生 るようになる、	たちで問	もって行動・主体的に		ようになり、自信を 対達と相談したり、エ せて楽しもうとする。
ねらい	しての自覚をもつ。 ・新しい生活や環境に に好きな遊びや生活	を意欲的に行い, 年身に関れ, 教師や友達とを楽しむ。 動植物に親しみ, 世話	ける。 一緒 ・ルールを・ ・友達との。 で遊びを進 ・様々な遊 中で、自分	候に応じた衛生週間や生 守ったり、見通しをもったり かかわりを広げ、教え合っ ものていくことを楽しむ。 びに興味をもち、自然や」 なりに遊びを工夫したりま 然に進んでかかわろうとし	りして生活をする。 ったり助け合ったりし 身近な環境に関わる 考えたりする。	生活に見通しをもち、積極る。 体を十分に動かして遊び、 り組む楽しさ、友達と力を合きを味わう。 身近な自然に興味関心を しさや不思議さに気づく。	共通の目的に向かったりまる わせたり競ったりする	て取 協 楽し り	協力したり工夫 J遂げる達成感 身近な素材や	を味わう。 自然を生かして必要?	後までや	する。 ・目的に向か げていく楽し ・友達と相談 さや充実感る	いってクラスの友達と協 さを味わう。 もや協力をしながら自分	に生活を進めていこうと カし一つのものを作り上 たちで活動を進める楽し 学への期待をもつ。
	進んでする。 ・年中児や年少児のもってかかわろうとす ・教師や友だちと好き ・教師や友達と安心で活動する。	様子を気にかけ親しみる。 な遊びをじっくり楽しる できる関係の中で意欲 まや関心をもち、触れ	を を を を を に た に に に に に に に に に に に に に	通しをもち、自分たちで生いろいろな遊びをする中で、分いろな遊びをする。 、分かろうとする。 いや考えを言葉で友達に ある遊びや共通のめあて。	活を進めようとする。 ・ 相手の気持ちや考し に伝えようとする。 をもった遊びを繰り 挑戦したりすることを	週の予定や一日の生活の もって行動する。 様々な運動遊びに進んで して遊ぶ。 得意なことや頑張っている せ合ったり認め合ったりする 木の葉や木の実などの自 な物を工夫して遊びに取り	取り組み, 十分に体を ことなどを友達同士で る。 然物を集めたり, いろ	し・液 動か ・た・・ た・・ いろ・・	ながら遊びを 友達とイメーシ 工夫し、みん 友達と共通の よりしたものを	ジを伝えあい,様々ないなで一つのものを作っ イメージをもって作った 佐びに取り入れて楽し	表現方法 っていく。 たり描い っむ。	たりしながびを中児に ・年中園を迎 ・文でに取り	ら共通の目的に向か にいく。 係や当番の仕事を 見える。 :ば・数量・時計など	いって、自分たちで遊引き継ぎ、自信をもっに関心をもち、生活や
教師のかわり	しみをもって関われる 口子ども一人ひとりに を築いていく。 口身近な自然に関わ 持ちなどに大気持ちで、 の流れに配慮し、ゆる 場を構成する。	機会をつくっていく。 二丁寧に関わり、信頼 いり発見や不思議に思いく。 生活ができるように、 デ とりとメリハリのある時 返し活動できるように、	おいながらいながらいしたりない。 したり (いっぱい ) * がらい )	のつながりを深めるために , 互いの気持ちや考えを・ , 工夫したりしている姿を にも広げていく。 的友達と一緒に活動を楽し 生活の仕方と場を構成す 生などを使ってダイナミック 思議さを共有したり、記し ったりできるようにする。 自然とふれあう中で,自然 とり、生命の大切さに気づ	伝え合えるようにして 認め、興味関心を周いめるよう時間にゆとした。 はるよう時間にゆとした。 はて遊ぶ機会を設け、たちに遊ぶ機会を設け、たちに上大したりする楽事象への興味や関	コ生活や遊びに必要なことを自 姿を認めていく。 コ友達と思いが食い違ったりぶ こ直いの思いを受けとめ、寄り; ける。 コめあてをもち繰り返し取り組 きう機会を大切にし、友達の良 * 遊具や用具など、危険や怪野 とり共に考えたりし安全に留意 * 秋の自然物で遊んだり収穫し	でかったりしてトラブルに 気持ちの立て直しができる 添ったりクラスで一緒に考 いでいることや、頑張りを付き さを感じられるようにして ながないような扱い方を知 する。	る□めえ * なる * る * る * る * る * る * る * る * る *	ように援助してして は変達のイメージ はうとする姿を見るよう援助したり ようともたちが相 に時間を確保し、 ・グループ活動を ・核々な素材を子	や考えを伝え合いながら 見守ったり、互いの思いた	お活動を進 が分かり合 るよう十分 るようにす ようにす	達わす □ し、	を振り返り今まで楽し ・楽しんだり仲間と過きるようにし、卒 園ま ・見学や小学生と触れ の期待が膨らむよ取り こして自分たちが取り こえる場を設ける。 と活の中で文字や数 ようにする。	での時間を大切に 合える機会を設定 にする。 J組んできた役割を、